

下痢



抗がん薬による下痢

抗がん薬による下痢は、抗がん薬が腸管粘膜に刺激を及ぼすために、起こります。

①すぐにあらわれる下痢と②遅れてあらわれる下痢があります。

冷や汗が出る、腹痛、おなら、おなかがゴロゴロする、便の回数が増える、便の量が増える、便がゆるくなる、といった症状は下痢になる可能性がありますので、注意しましょう。症状があらわれた時には、医師や看護師にお知らせください。

①すぐにあらわれる下痢	②遅れてあらわれる下痢
抗がん薬を投与して24時間以内 ・冷や汗、腹痛、おならなどの症状が先に現れる場合もあります。	抗がん薬を投与して24時間以降 ・多くの場合は1-2週間後 ・あらかじめ下痢止めの薬をお渡しする場合もあります。

いずれのタイプにおいても、多くの場合は下痢止めなどのお薬により症状を和らげることができます。あらかじめ下痢止めのお薬が処方されている場合は、医師の指示どおりに使用してください。また、白血球が低下している時期には、腸の感染による下痢を起こしやすくなります。吐き気や発熱などを伴う場合は注意が必要です。

日常生活での注意点

- 衣服はゆったりとしたものを選び、お腹を冷やさないようにしましょう。
- 体力を消耗しますので十分な休息を取るようにしましょう。
- 腸に刺激作用のある食べ物は避けるようにしましょう。
例) 香辛料、乳製品、脂肪や食物繊維・塩分の多い食品、アルコール類、炭酸飲料など
- 脱水症状を予防するために水分はこまめに摂取しましょう。
- 肛門周囲は清潔に保ちましょう。

下痢が起こりやすい抗がん薬

一般名	商品名
フルオロウラシル	フルオロウラシル®
カペシタビン	カペシタビン®
テガフル・ギメラシル・オテラシル	エスワンタイホウ®
トリフルリジン・チピラシル	ロンサーフ®
セツキシマブ	アービタックス®
パニツムマブ	ベクティビックス®
ニボルマブ	オブジーボ®
ペムプロリズマブ	キイトルーダ®
アベルマブ	バベンチオ®
アテゾリズマブ	テセントリク®
デュルバルマブ	イミフィンジ®
チオテパ	リサイオ®
ゲフィチニブ	ゲフィチニブ®
エルロチニブ	タルセバ®
アフアチニブ	ジオトリフ®
オシメルチニブ	タグリッソ®
ラパチニブ	タイケルブ®
パゾパニブ	ヴォトリエント®
レゴラフェニブ	スチバーガ®
レンバチニブ	レンビマ®
エベロリムス	アフィニトール®
パルボシクリブ	イブランス®
アベマシクリブ	ベージニオ®
ブリグチニブ	アルンブリグ®
セルペルカチニブ	レットヴィモ®

愛知県がんセンター 化学療法チーム

R5年12月現在採用薬剤